

2023年9月13日

黒田精工株式会社

富津工場における太陽光発電の導入について

黒田精工株式会社（代表取締役社長：黒田 浩史、本社：神奈川県川崎市）は、CO₂ 排出量削減施策の一環として再生可能エネルギーの活用を推進するため、富津工場（所在地 千葉県富津市）に太陽光パネルを設置し、2023年9月1日に発電を開始いたしました。



オンサイト自家消費型太陽光発電サービス（PPA モデル/第三者所有モデル）を活用し、富津工場内にある TL 工場棟の屋根スペースを提供し、エネルギーサービス事業者である SMFL みらいパートナーズ株式会社（代表取締役社長：寺田 達朗、本社：東京都千代田区）が容量 565W の高出力太陽光パネルを 874 枚設置しました。パネル容量は 493.8kW となり、発電量は年間 552MWh を見込んでいます。この太陽光発電設備の導入により、CO₂ 排出量を年間約 260t 削減できる見込みです。

当社は既に 2020 年 5 月から、かずさアカデミア工場（所在地 千葉県君津市）の屋根に設置した太陽光発電設備で発電した電力を購入しており、今回は PPA モデルによる再生可能エネルギー導入第 2 弾となります。

黒田精工は、地球温暖化に伴う気候変動は人類が直面している最大のリスクの一つであると捉え、社会的責任を負う企業として、温暖化対策への取り組みを積極的に行っています。電力消費量の削減に寄与する技術開発、例えば高効率モーターの実現に資する金型技術の開発や、油空圧式に比べ消費電力を削減できる電動式アクチュエータの開発などに取り組んで来ましたが、国内工場で排出する CO₂（Scope1 + Scope2）を 2018 年度対比で 2030 年度までに 40%、2050 年度までに実質ゼロとする目標を立て、そのために必要な設備投資や運用改善等による省エネ対策を引き続き実施して行く計画です。今後、PPA モデルを活用して長野工場（所在地 長野県北安曇郡池田町）にも太陽光発電設備を導入してまいります。

【本件に関するお問合せ先】

黒田精工株式会社 技術本部 技術管理センター TEL 044-555-3862

以上